

国立天文台 天文情報センター出版室の 歴史・文化天文学関連のサポート事業の紹介

高田裕行、渡部潤一（国立天文台）

天文学史研究の拡大と展望:Cultural Astronomyとしての天文と歴史

2026/03/06@京都産業大学

国立天文台 天文情報センター出版室のしごと

- ①国立天文台の公式出版物の制作・発行
- ②国立天文台の研究成果を通じた天文学のアウトリーチコンテンツの制作・発信
- ③大学共同利用機関ミッションとしての学術推進サポート業務

- メディアとして紙冊子および電子書籍で発信
- 天文情報センター出版室webでご覧いただけます。

国立天文台出版室



国立天文台ニュース NAOJ News

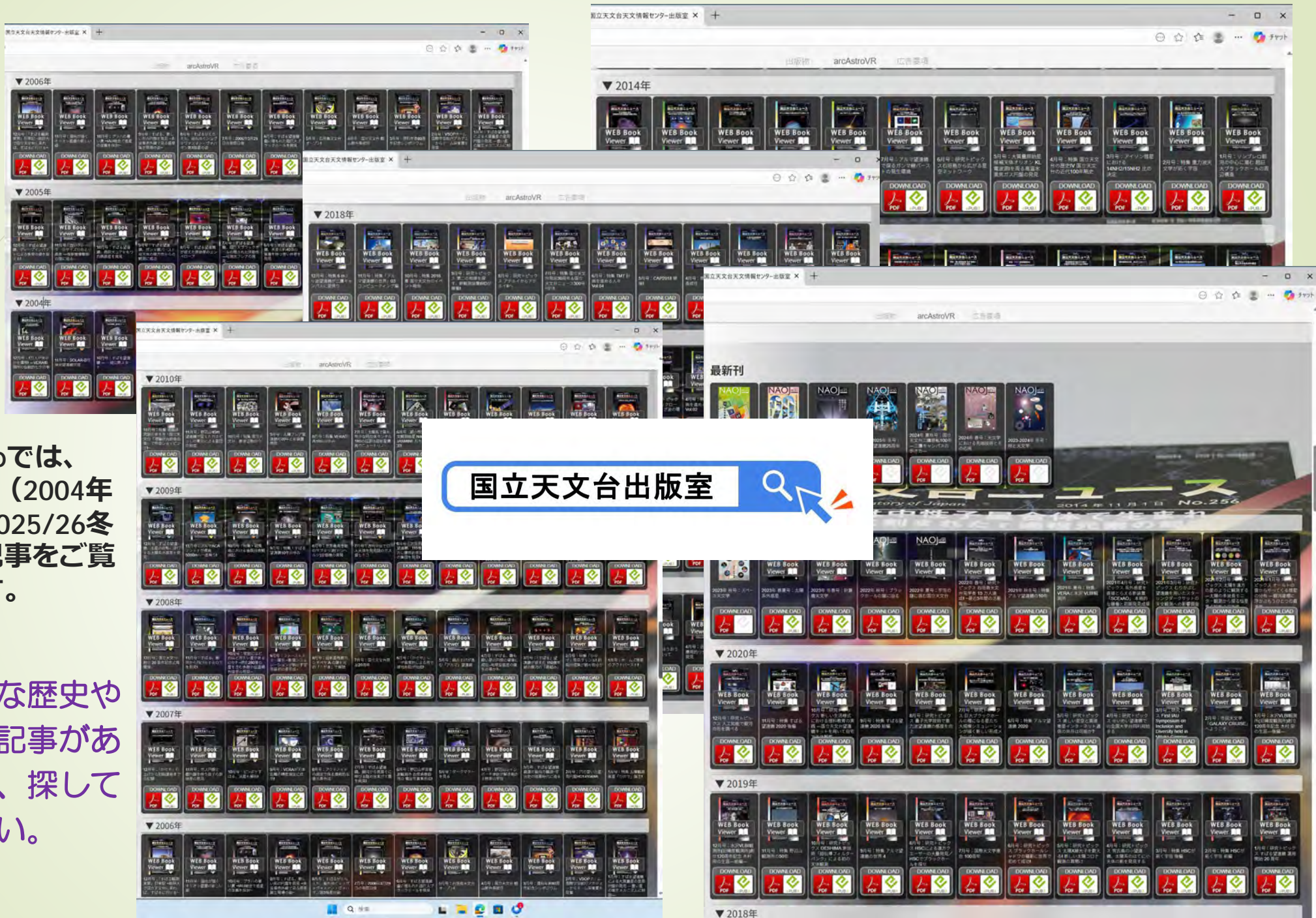
- ▶ 出版室の主要制作業務のひとつ
- ▶ 国立天文台の機関広報誌（月刊・季刊）
- ▶ 通巻349号（2001年4月号～最新号は⇒）

- ▶ 特集、研究トピックス、研究会報告、イベント報告・告知、読み物、連載記事など多種多様な記事提供
- ▶ 記事内容は天文学・宇宙科学の研究テーマ関連がメインだが、歴史や人文系分野（いわゆる文化天文学）のテーマも多数掲載



● 出版室webでは、
現在215号分（2004年
10月号から2025/26冬
号まで）の記事をご覧
いただけます。

● さまざまな歴史や
人文関連の記事があ
りますので、探して
みてください。



国立天文台出版室



オリジナル書籍

国立天文台天文情報センター出版部が企画・編集を行ったオリジナル電子書籍です。

国立天文台出版室



新刊

書籍名：スワロフ日食観測記
著書名：日江井栄二郎
発刊日：2023年7月1日
ISBN：978-4-908895-02-9
内容：1958年（昭和33年）10月12日に南太平洋で皆既日食が見られた。この時、東京大学・東京天文台（現在の国立天文台）は総勢7名からなる観測隊を北クック諸島スワロフ島（無人サンゴ礁）に送り、観測に成功した。当観測記は、そのとき観測隊に参加した日江井栄二郎、山下泰正の両氏（ともに国立天文台名誉教授）の編による貴重な観測報告記録である。近年の皆既日食では、天文ファンが気軽に世界各地の観望ポイントに出かけることができるが、1958年当時の国外における日食観測は、プロの研究者が数多くの専用機材とともに長期にわたる入念な準備を整えて観測地に向かう、一大観測イベントであった。この観測記から、その大遠征のようすを伺い知ることができる。関連ウェブサイトに国立天文台 天文情報センター ミュージアム検討室 アーカイブ事業 (nao.ac.jp) が公開されているので、こちらもぜひご覧ください。

書籍名：Makali'i in Hawai'i
著書名：Keiichi Kodaira
発刊日：2016年7月8日
ISBN：978-4-908895-01-2
内容：この英語版のタイトルにある「Makali'i」とは、古代ハワイ人がアウトリガー・ケインで太平洋を航海する際に位置と時間を示すために使った星団「プレアデス」のハワイ語である。Makali'iの本来の意味は「小さな目」で、ハワイ人はMakali'iから来たという伝説がある。日本では、清少納言の『枕草子』に「(美しいのは) 春の暁、星の中のすばる」とあるように、この美しく目立つ星団「プレアデス」を、大和の時代から「すばる」と呼んできた。すばるの原義は「集う」である。日本の国立大望遠鏡 (JNL) は「すばる」と命名された。ハワイに集まった大きな望遠鏡は、宇宙から見た小さな目なのです。本書の日本語版『宇宙の果てまで』には、わずかな写真素材しか掲載されていません。電子書籍という新しい出版スタイルを活かし、本書『Makali'i in Hawai'i』では多くの写真を追加しています。翻訳資料と一緒に楽しんでもいただければと思います。

Teachings of Astronomy in Asian-Pacific Region Bulletin No. 1

Global observation in a museum K. Ueno 1
Solar observation in Fujita's observatory T. Kitano 1
The past and present state of astronomy T. Kitano 1
Observation in Thailand K. Ueno 1
Developing university level astronomy and research projects in Asia K. Ueno 1
International Research for Teaching the history of astronomy J. K. Kishida 1
Recent developments of astronomical observation in Asia T. Kitano 1
The present situation of astronomy education in the university of the air K. Ueno 1

●資料・アーカイブ棚には、「アジア・太平洋地域における天文学教育」全巻をご覧いただけます。

●オリジナル書籍棚

・「1958年スワロフ島皆既日食観測記」
(日江井栄次郎/山下泰正 著)

・Makali'i in Hawai'i
(Keiichi Kodaira/Kyoji Nariai) ★紹介動画付き

1958年スワロフ島皆既日食観測記

日江井栄二郎・山下泰正

Makali'i in Hawai'i

Twenty Years of the Subaru Telescope Project
A Challenge to Reach the Edge of the Universe

Keiichi Kodaira
Translated by
Kyoji Nariai

Cooperated
Hayashi Publishing Corporation

THE ASTRONOMY OF THE BIBLE

AN ELEMENTARY COMMENTARY ON THE ASTRONOMICAL REFERENCES OF HOLY SCRIPTURE

BY E. WALTER MAUNDER, FRAS

WITH THIRTY-FOUR ILLUSTRATIONS

FOURTH EDITION

LONDON: THE EPWORTH PRESS
J. ALFRED SHARP

また会う日まで
池澤夏樹

The Astronomy of the Bible (E. Walter Maunder) の日本語完訳版制作も進行中。訳者は秋吉利雄氏（元水路部長・海軍少将/作家・池澤夏樹氏の大伯父）で、池澤氏の「また会う日まで」の主人公。

●大学共同利用機関ミッションとしての学術推進サポート業務



大学共同利用機関法人のミッションとして、天文と考古学・古代史学等関連の科学研究費助成事業や文化天文学の研究サポートを行っています。

01・天文と考古学・古代史学等関連の科学研究費助成研究事業

02・arcAstroVR

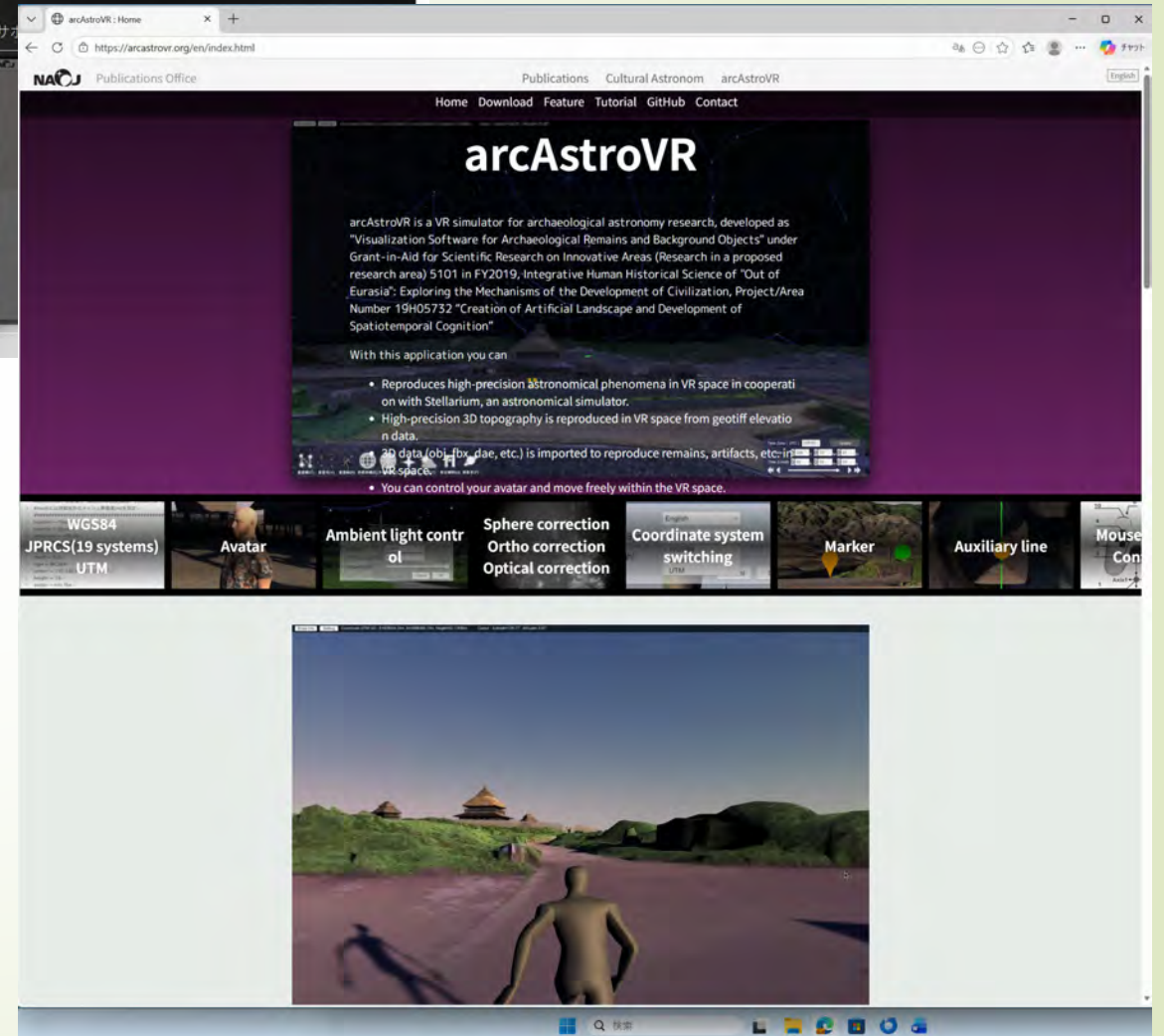
03・文化天文学の研究





01 ● 天文と考古学・古代史学等関連の科学研究費助成研究事業の紹介サイト

考古学・文献史学・人類学・民俗学等の人文諸学と天文学との連携により、その学際領域を探究する科研助成事業を紹介するサイトです。具体的には、基盤研究A「天体景観への認知と祭祀および暦の生成に関わる考古天文学の展開」などの研究成果論文・各種報告・研究会資料などを公開しています。



02 ● 考古天文学用の検証シミュレータ arcAstroVRの紹介サイト

過去の天文景観や現象をシミュレートして、考古遺跡との関連を調べるために制作された考古天文学用の検証シミュレータです。随時機能を拡充しつつ、研究ツールとして活用されています。



03 ● 文化天文学の研究推進の紹介サイト

- ①過去の天文学史系の研究会（谷川氏・相馬氏）のアーカイブサイト
- ②「アジアの星物語」「日本の星めぐり」の制作（世界天文年2009レガシー事業）
- ③人文諸学と天文の融合研究一般
- ④それらを生理学的に基礎づける認知天文研究の試み

など、さまざまな取り組みを紹介しています。



●世界天文年2009レガシー事業

アジアや日本の星の名まえや習俗・信仰、物語や神話などをまとめた書籍コンテンツ類の制作

- ・「アジアの星物語」
- ・「日本の星めぐり」 (制作中)

(ともに「アジアの星」国際編集委員会 編)



● 人文諸学と天文の融合研究一般

現状は、科研事業の各分野サイトへのリンク段階ですが、順次体系化・構造化を試みて内容を充実させていく予定です。

The screenshot shows the homepage of the Cultural Astronomy Research website. The main heading is "文化天文学の研究" (Research in Cultural Astronomy). Below it, there is a paragraph explaining the concept of cultural astronomy as a synthesis of astronomy and humanities. The page features several navigation buttons: "天文学史研究会および談天の会" (Astronomy History Research Association and Starry Night Society), "文化天文学「世界天文年2009レガシー・コンテンツ」" (Cultural Astronomy "World Astronomy Year 2009 Legacy Content"), "Stars of Asia アジアの星物語" (Stars of Asia: Star Stories of Asia), and "日本の星めぐり" (Stargazing in Japan). There are also sections for "考古天文学" (Archaeoastronomy) and "歴史(文献史学)天文学" (Historical/Literary History Astronomy). A hand cursor icon is overlaid on the "天文民俗学" (Astronomy Folklore) section. At the bottom, there is information about a grant project from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

The screenshot shows the "考古天文学" (Archaeoastronomy) section of the website. The main heading is "はじめに" (Introduction). The text explains that archaeoastronomy is a branch of archaeology that uses astronomical knowledge to verify records of astronomical phenomena found in ancient sites. It also mentions a grant project from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. On the right side, there is a login form with fields for "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password), and a "ログイン" (Login) button. A search bar is also visible at the top right.



● **認知天文学・宇宙観史説明プロジェクト**は、人文諸学と広義の天文の融合研究の成果を認知心理学や生理学の切り口で整理・分析して、物理的な天文景観情報と心理的な天文景観解釈の総合的理解による人間像の探求を目指します。また、眼視天文学の可能性を新たな装いで甦らせる試みでもあります。

- 駆け足紹介でしたので、
- くわしくは、情報センター出版室webサイトをご覧ください。
- ご清聴ありがとうございました。

国立天文台出版室

